

第2回中央委員会アピール

**交流、学び、行動——青年の願いにねざした魅力あふれる班活動をす
すめ、仲間の輪をひろげよう**

2008年6月13日 採択

第33回全国大会から半年、青年の願い、模索にこたえ、連帯と成長を大切に全国の班のみなさんの活動が、青年にとつてかけがえのない居場所となり、新しい時代をひらく力を発揮しています。

みんなの力で、「つながる」「まなぶ」「かえられる」——民青同盟の魅力をいっそう輝かせていくために、全国大会決定と「大会ハイライトビデオ」に学び、「班が主人公」の活動を発展させることをよびかけます。

1、青年の願い、模索とひびきめう民青同盟の基本的性格

『お仕事交流会』や実態調査アンケートにとりくんだ』『学費ZEROネット』に加わり、声を集めて国会議員に要請」「九条の会をつくって、一人ひとりの言葉で9条の大切さを発信」——全国大会後、私たちは、あふれる青年の願いを交流し、その実現へ力をつくしてきました。

とくに、「人間らしく働きたい」という青年のギリギリの願い、深刻な実態の告発、そして、勇気あるたたかいが、「若者を使い捨てにする働かせ方でもいいのか」という世論をつくりだし、政府・大企業の横暴を許さない新しい流れをつくりだしていることは画期的です。2月の国会での日本共産党・志位委員長の問題に、福田首相は、「派遣は常用雇用の代替にはならない」「日雇いという形は好ましくない」などと答え、キヤノン、いすゞ自動車などの大企業が、製造現場から「派遣をなくす」という方針を打ち出さざるをえなくなりました。派遣労働の規制緩和から規制強化へ、大きく流れをかえるときです。

志位委員長の国会質問は、ネット上で16万回も視聴され、戦前の日本共産党員作家・小林多喜二の『蟹工船』が三十数万冊も増刷されています。いま、青年が、「自分のひどい働かされ方は、自分のせいじゃないのではないか」「政治や社会に問題があるのではないか」と気づきはじめ、連帯することに希望を見いだしはじめています。

「子ども格差」がメディアでくりかえし報じられ、高校、大学の高い学費・教育費が社会問題となるなか、東京大学で世帯年収400万円以下の授業料免除制度を実現したことは、多くの学生、高校生に驚きと共感を広げています。

平和と憲法9条を守る青年・国民の運動のひろがりのなかで、読売新聞の世論調査では、15年ぶりに「改憲反対」が「賛成」を上回りました。

こうしたなかで、「学び、成長したい」という願いにこたえ、あたたかく励まそうと、新入生・新入職員歓迎運動が全国でとりにまわりました。貧困や格差、地球環境問題、平和と憲法などへのつよい関心、なんでも語りあえる仲間がほしいという願い、民青同盟のとりにくみへの共感の声がたくさん寄せられています。

同時に、「努力がたりない」と自分を責めたり、「この社会に自分の居場所があるんだろうか」と「生きづらさ」を感じ、自分の願いも将来への展望も見いだせずに、あきらめ、苦しんでいる青年も少なくありません。

中央委員会が5月にひらいた「学ぶ つながる かえられる」講座では、「生きづらさ」の大もとにならがあるのか、どうすればかえられるのか、科学的なものの方・考え方はなぜ大切なのかなどを学びあい、大きな成功をおさめました。

「「生きづらさ」の背景がわかり、自分の要求に気づけたし、人の痛みにも共感できるようになった」「社会はかえていけると学んで、生きていく勇気をもらった」——日本共産党綱領と科学的社会主義の学習が、若者を使い捨てにする日本社会の異常を知り、「社会はかわるしかえられる」という確信と、人間的連帯をきずき、人間らしく生きていく希望をひろげる力になっています。このことは、今後の活動にとっても大きな意義をもつものです。

青年の実態を集め、告発と願い実現にがんばってきた一つひとつの班のとりくみ、苦しみのおもとと社会をかえる展望をつかみ、共感・連帯する力を育んできた学習と交流の魅力——青年の切実な願いの実現にとりくみ、日本共産党綱領と科学的社会主義を学ぶ民青同盟の基本的性格が、いま、青年と深いところでひびきあい、青年の連帯をきずき、政治を動かす確かな力を発揮しています。

2、班活動の魅力を発揮し、仲間を迎え、願い実現の運動と大学習運動をひろげよう

「大学で生きいきと学ぶ『スタ★カフェプロジェクト』を発足。新歓企画『満カフェ』に50人が参加」「ぱつと提案 さくつと実行」をスローガンに、マンガ喫茶調査や折り鶴宣伝などのプランをたて、仲間をふやした」など、私たちは、魅力ある班づくりと仲間を迎える努力を一体にすすめてきました。

(1) 青年の願いに心をよせ、ともに学び、連帯し、行動する魅力ある班へ

魅力ある班活動をつくり、仲間を迎え、同盟員にも青年にもかけがえのない「居場所」となって前進している班では、職場・地域・学園の同盟員・青年の実態や願いにねざし、ともに学び、連帯し、行動する「班が主人公」の活動を発展させています。その経験に学び、3つの努力をつよめます。

第一に、同盟員や青年の願いを大切にし、一人ひとりが感じている「生きづらさ」も率直に語りあえる連帯とあたたかさを発揮し、そのおおもとならがあるのか、どうすれば願いを実現できるのかを、青年とともに学び、行動する班活動をすすめることです。

「3分間スピーチ」や「ランチタイム交流会」、アンケート対話などで、仕事や生活のしんどさ、人間関係の不安や悩み、進路、学びたいこと・知りたいことなど、抱えている思いを語りあい、お互いに受けとめ、いっしょに学んでのりこえる、交流、学び、行動が、同盟員と青年の居場所をつくり、願いにねざした班活動をすすめる力になっています。

また、文化・スポーツへの関心などにこたえとりくみも重視します。

「全国大会ハイライトビデオ」を見た班では、「微力だけど無力じゃない。自分たちの活動が社会を動かしている」「ここは悩みをうけとめてくれる場所だと思った」など、民青同盟の魅力に気づき、自分たちの願いが語りあわれ、多彩な班活動がはじまっています。

第二に、班活動プランをつくり、スローガンを決め、みんなで魅力ある班をつくっていくことです。同盟員と青年の願いがまった班活動プランを一つひとつ実現することが、仲間どうしの結束を強め、新しい仲間を迎える力にもなっています。参加できていない班員にも声をかけ、その願いにこたえ、成長を支えあう班活動をすすみましょう。

第三に、「青年にとって民青同盟に加盟することにどんな意味があるのか」をテーマに、感じている民青同盟の魅力や自分の成長、まわりの青年の実態や願いを交流し、目標をもって仲間を迎えていくこ

とです。民青同盟の「つながる」「まなぶ」「かえられる」魅力は、職場・地域・学園とともに働き、学ぶ青年にとっても大きな魅力です。また、班に仲間を迎えること、大きな班をつくることは、班活動をバージョンアップする力にもなっています。

アンケートや「大会ハイライトビデオ」なども活用し、相手の願いや関心に心をよせ、自分が感じている民青同盟の魅力を話して加盟をよびかけましょう。班会議や企画に参加してもらい、交流を深め、人間的連帯をつよめる努力をつうじて、くりかえし加盟をよびかけることを大切にしましょう。

魅力ある班活動をすすめる、新しい仲間を迎えていくために、学習の援助をはじめ、雇用や学費、憲法の運動や宣伝、「居場所」となるスペースの確保など、日本共産党になんでも相談し、積極的に援助をうけましょう。

(2) 青年の願い実現の運動を大きく、大学習運動をさらに豊かに

職場・地域・学園の青年の願いにねぎした魅力ある「班が主人公」の活動を発展させつつ、全国的な願い実現の運動を大きく、大学習運動をさらに豊かにすすめていきましょう。

10月5日の「全国青年大集会2008」にむけて、全国で実行委員会づくりがすすんでいます。実態調査アンケート、政府・自治体への要請行動、プレ企画、労働組合に青年が参加するとりくみをひろげましょう。全国の班が力をあわせて10万人の青年と対話・交流し、正規・非正規を問わず、深刻な実態、願い、不満や悩みを集め、告発することをよびかけます。

全日本学生自治会総連合は、学生・高校生・父母らの学費・教育費負担の軽減をもとめて、7月4日に国会議員要請行動、5日に「学費・教育費シンポジウム」をよびかけています。署名やアンケート、一言カードなどにとりくみ、もちよりしましょう。

8月の原水爆禁止世界大会と「世界青年のつどい」、12月12日に東京の「学生九条の会」がよびかけている「Peace Night 9」にむけて、「21万羽おりづるプロジェクト」やピースバスツアー、「青年・学生九条の会」づくりなどにとりくみ、学び、交流しながら、「戦争も核兵器もない世界」を「憲法9条守れ」の多数派を結集することをめざしましょう。

雇用や学費、憲法、教育、環境など、切実な願い実現へ運動をひろげ、国政や地方政治に青年の声を届けながら、日本共産党と力をあわせて、「かえるネットメールニュース」を受けとる「日本共産党といっしょに日本をかえるネットワーク」のメンバーをひろげます。

大学習運動では、県・地区（地域）で学習会にとりくむとともに、すべての班が学び、交流して、一人ひとりの同盟員の成長を大切にす班へと前進しましょう。

『被爆者の証言』『地球温暖化問題』など11の分科会に分かれて、班で学習してきたことを発表「1月一回、「ご飯」と「学び」を組み合わせて『ランチタイム・スタディ』を開いている」などの経験に学び、願いや関心にこたえる学びを気軽に楽しくはじめましょう。5月講座の内容や「民青新聞」「われら高校生」を活用し、日本共産党の援助もうけて、ねばりづよく日本共産党綱領と科学的社会主義を学びましょう。夏の条件も生かして、班合宿など時間をとった「学び・交流」企画にもチャレンジしましょう。

(3) みんなで協力して財政・機関紙活動にとりくもう

民青同盟の事務所の維持や宣伝物の作成、専従者の給与などは、同盟員が毎月納める同盟費、機関紙代と募金によって支えられています。同盟費を納めてもらう活動は、一人ひとりの同盟員の心を集め、

人間的なむすびつきをひろげる大事な活動です。仲間の声を集め、班活動プランに具体化することで、班活動もいっそう豊かになり、班会議への参加も広がっています。「財政活動のしおり」を学び、班活動ノートを活用して、班で係を決めて励ましあってとりくみます。

『3csp』で終わらない学習ができて、全国とつながれる」「目線が私たちといっしょ。読み合わせると話が広がる」——「民青新聞」「われら高校生」は、青年の願いや模索によりそい、明るい展望とあたたかい仲間が見える新聞です。班で読んで交流するとともに、自分にとっての「民青新聞」「われら高校生」の魅力を交流しましょう。

この夏、魅力あふれる班活動をつくりながら、力をあわせてすべての同盟員・読者に働きかけ、同盟費の納入、機関紙代の集金をすすめましょう。チラシやニュースをつくって、私たちの活動を紹介しながら、応援してくれる方々に、民青同盟の活動を支え、発展させる募金への協力をよびかけましょう。

全国の班と同盟員が力をあわせて、青年の願いにねぎした魅力あふれる班活動をすすめ、あたたかい仲間の輪をひろげましょう。

以上